



昭和大学
SHOWA University

—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

退職のご挨拶

顎顔面口腔外科 診療科長・教授 代田 達夫

私は2014年4月から昭和大学歯科病院顎顔面口腔外科の教授・診療科長、そして2019年より副院長を拝命し今日に至りました。日々の忙しさに紛れて自身が定年退職することは漠然としていましたが、次年度からの予定を考えなくてはならなくなつて、私は4月以降ここにはいないのだと、実感するようになりました。連日のように行われる口腔外科手術の場にはもういない。

毎年行われてきたさまざまな行事、例えば病院ワークショップに参加することも無い。そう思いますと定年退職という現実を明確に突き付けられているようにも感じますが、漸く重荷を下ろせるというのが実感で、寂寥感はありません。

定年不要論というのがあります。暦年齢で一律に退職するのではなく、その人の活動性をもって決めるべきという論法ですが、そうしたことに該当するのはごく少数です。大部分の人は加齢とともに生理機能が低下し、判断能力も硬直化してきます。

また、人事の若返りを図り、組織の風通しを良くするためにも定年による退職は妥

当な制度であろうと思いま

す。
「病診連携の推進」と「口腔外科医の育成」、この二つこそが大学附属病院口腔外科に課せられた使命です。幸いなことに4月には将来性豊かな若者たちが新たに顎顔面口腔外科に入局し、新体制も徐々に整いつつあります。



しかし、厳しい歯科医療情勢の中で、後任の診療科長には今まで以上の難しい判断と舵取りが求められると思います。私はセカンドキャリアの道に進むこととなりますが、顎顔面口腔外科が一日も早く、歯科医療の最後の砦として地域に根を張った新体制を構築できるよう見守って参りたいと思います。

最後になりますが、周囲への感謝と思いやり、そして健康に気を付けることを自身への戒めとして残りの人生を過ごしたいと思います。今まで本当にありがとうございました。



- P1 巻頭言 退職のご挨拶
- P2 退職のご挨拶、臨床研修を終えて
- P3 特集記事：群馬県上野村診療所紹介
- P4 患者満足度調査 速報、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

退職のご挨拶

監視室 設備技術員 高橋 久幸

この度、3月末日をもちまして定年を迎え、退職することとなりました。

昭和58年に藤が丘病院に入職し、大学病院、歯科病院と3病院を異動してまいりました。永きにわたり大過なく勤めることが出来たのは、ひとえに多くの皆様のご指導とご協力の賜物と思っております。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。有難うございました。

また、皆様のご健勝と益々の歯科病院のご発展を祈りご挨拶にかえさせていただきます。



臨床研修を終えて

教育支援室

顎顔面口腔外科と保存修復科で研修させていただきました。研修の日々は学びの連続でした。

患者さんが来院される理由はさまざまで、そのご要望にお応えするためには何よりも誠意が大切だと学びました。また先生方にも優しくご指導いただきました。

この一年、ご教授いただいた先生方や患者さんに対して感謝の気持ちを忘れずに、今後も昭和大学が掲げる至誠一貫の精神のもと、より良い医療を提供できるように努力し、今後も研鑽して参ります。

歯科臨床研修医 内田 百音

1年間の研修を通じて、歯科医療の楽しさと難しさの両方を実感しました。

コロナ禍での臨床実習では患者さんと接する機会が限られていたため、研修での診療経験は非常に貴重なものとなりました。また、国家試験で学んだ知識を実際の臨床の場で適切に活用することの難しさも感じました。

来年度からは研修医という肩書きが外れ、より大きな責任が生じます。今後も知識や技術の向上に努め、歯科疾患の治療・予防を通じて患者さんのQOL向上に貢献できればと考えております。

歯科臨床研修医 柴本 康太



特集記事：群馬県上野村診療所紹介

保存修復科 助教 菅井 琳太郎

「コンビニより多い」などと言われている歯科医院ですが、都心に集中する一方で田舎には少ないという地域格差が認められます。そのため、「無歯科医師地区」と呼ばれる歯科医院のない地域が全国に700か所以上あることが判明しています。

群馬県にある上野村もその地区の一つで、歯科医師不足が問題になっていました。上野村は群馬県の最南端に位置しており、埼玉県と長野県に接している、いわゆる「へき地」です。日本航空の飛行機が墜落した村として聞いたことがある方もいるかと思います。

その上野村と昭和大学が提携し、5年前より毎週2名の歯科医師が「上野村へき地歯科診療所」で診療しています。現在は月曜日に補綴歯科の横井先生（2025年度より芦田先生が担当）、金曜日が私の担当になっています。歯科病院から片道約3時間半を要する上野村は、人口はおよそ1,000人、高齢化率が約45%という超高齢化が進んでいる村である一方、観光や村営に力を入れて取り組んでいます。

「スカイブリッジ」という高さ90mの吊り橋（写真1）や、「不二洞」という関東最大

級の鍾乳洞が有名です。また、村内にある「きのこセンター」で栽培されている椎茸や、猪と豚を掛け合わせて生まれた「いのぶた」は絶品です。自然の豊かな上野村ですが、口腔内に対する意識は平均して高いとは言えず、入れ歯が必要となる患者さんが多いと感じます。そのため、セルフケアによる口腔内環境の改善と定期健診によるプロフェッショナルケアの定着が課題です。

「上野村へき地歯科診療所」では現在1名の受付と1名の歯科衛生士が常在し、歯科医師と3人で診療しています。待合室が和室という珍しい造りになっており、治療が終わった後も患者さん同士でしばらくくつろいでいることもよく見かけます（写真2）。「今日財布を忘れてしまったから、とりあえずこれで」と野菜をいただいたこともありました。

私が5年間、片道3時間半をかけて診療のために通っているのも、上野村の人の温かさから惹かれているからだと感じます。そしてこれからも昭和大学と上野村のつながりを大切にしたいと思います。もし機会がありましたら一度、上野村に足を運んでみてはいかがでしょうか。



写真1 スカイブリッジ



写真2 診療室と待合室

患者満足度調査 速報

患者サービス向上委員会

2025年1月25日(土)から2月7日(金)の期間で、令和6年度患者満足度調査を行い、2週間で2,142枚のご回答をいただきました。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。皆様からいただいたご意見は、今後のサービス向上に生かして参ります。

調査結果は只今集計中となりますので、詳細は改めてご報告いたします。

日程	患者数	回収枚数	回収率
1月25日(土)	663人	184枚	27.8%
1月27日(月)	757人	215枚	28.4%
1月28日(火)	867人	182枚	21.0%
1月29日(水)	874人	167枚	19.1%
1月30日(木)	797人	206枚	25.8%
1月31日(金)	887人	177枚	20.0%
2月1日(土)	752人	164枚	21.8%
2月3日(月)	868人	180枚	20.7%
2月4日(火)	931人	173枚	18.6%
2月5日(水)	996人	179枚	18.0%
2月6日(木)	618人	141枚	22.8%
2月7日(金)	975人	174枚	17.8%
合計	9,985人	2,142枚	21.5%

患者さんからのご意見・ご要望

患者サービス向上委員会

ご意見・ご要望	回答・改善等
初めての入院・手術でとても不安だったのですが、関わってくださった全てのお医者様・看護師さんがとても優しく、本当に心強かったです。また、お食事も美味しく、重湯が苦手な私でもふりかけや塩などであきずに食べることができました。病棟の皆様、本当にありがとうございました！	この度は無事に手術を終え、ご退院されたことをスタッフ一同嬉しく思います。まだまだ至らぬ点もあったかとは思いますが、今回のお言葉を励みに、今後もより良い医療の提供ができるよう努力して参ります。貴重なご意見をありがとうございました。 (看護部)
自販機で、新札しか持っていないくて使えず、困っている方が居ました。他支払方法導入や、入院前に注意点として新札使えないという事もお伝え頂ければいいかなと思いました。	ご不便をおかけして申し訳ありません。自販機業者に順次対応してまいります。 (管理係)

編集後記

本号はご退任される代田教授、高橋係長からご寄稿いただきました。

お忙しい中のご寄稿に感謝申し上げます。長年に渡り、当院でご尽力くださり本当に有難うございました。そしてまた、桜の花咲く頃となりました。

新年度も、皆様にお幸せが訪れますようお祈りいたします。(S.O)

